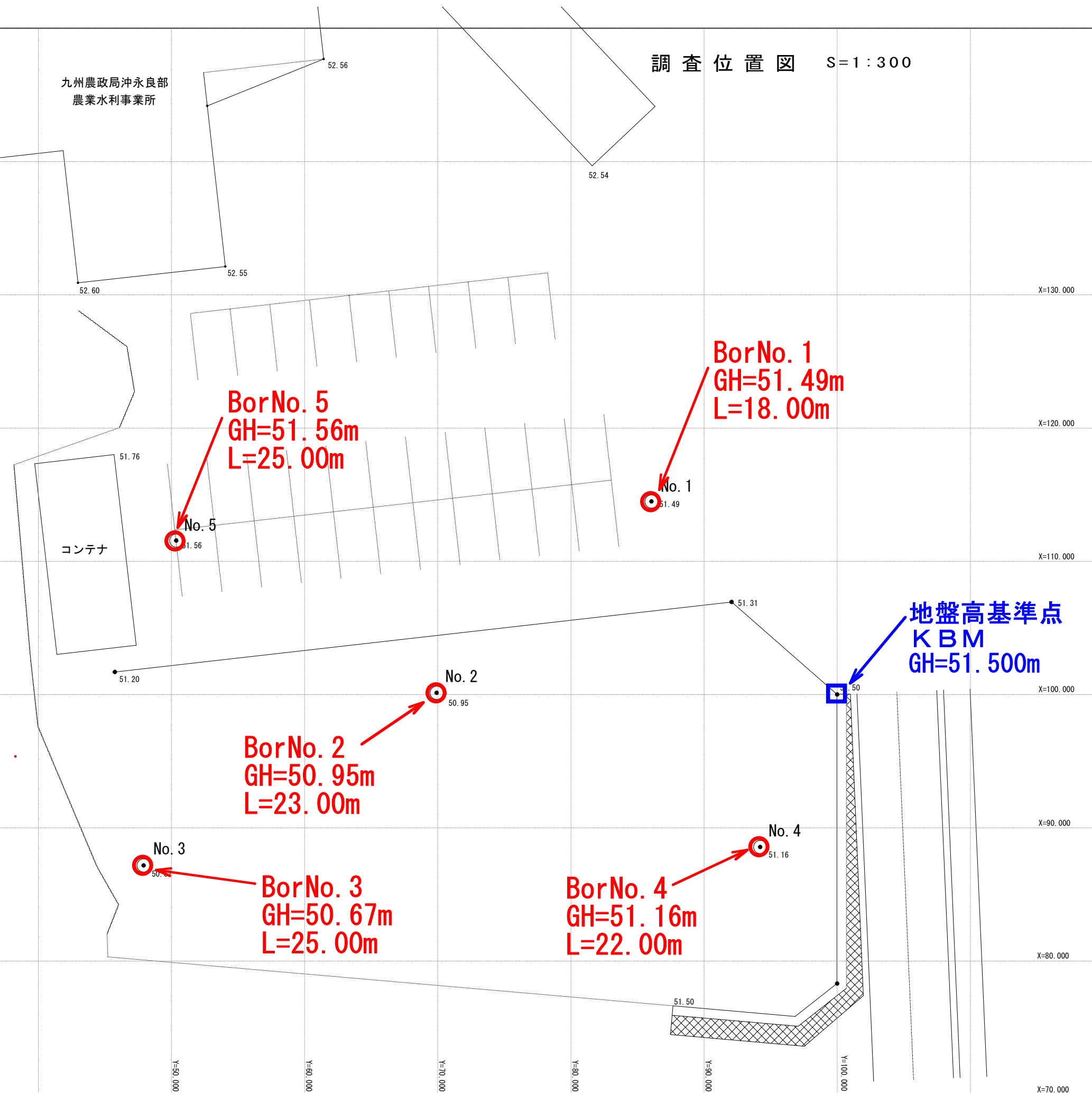


調査位置図 S=1:300

九州農政局沖永良部
農業水利事業所



調査位置図
S=1:300

知名町			
工事名	令和	年度	工事
河川 名称	知名町新庁舎		
工事箇所	大島	市	知名 町 瀬利覚地内
図面種類	調査位置図		
縮尺	S=1:300		
図面番号	全	葉第	号

ボーリング柱状図

調 査 名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

ボーリングNo							
---------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	大島郡知名町瀬利覚2362番地				北緯													
発注機関	知名町			調査期間	令和2年3月13日～2年3月16日			東経													
調査業者名	ユニオン技術株式会社 電話(099-268-0956)		主任技師	松山義高		現代場人	末吉哲也		コア鑑定者	松山義高		ボーリング責任者	胸元 滋								
孔口標高	51.49m		角			方			地盤勾配	鉛直 90° / 水平 0°		使用機種	試錐機		吉田鉄工製 YBM-05型		ハンマー	落下用具		半自動落下装置	
総掘進長	18.00m		度	180° / 90° / 0°		向	北 0° / 東 90° / 南 180° / 西 270°		エンジン	ヤンマー製 NF90		ポンプ	吉田鉄工製 GP-3								

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	採取方法	室内試験 (月日)	掘進
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)							
											0	10	20								
1	50.19	1.30	1.30	玉石混じり砂	灰～暗茶灰			表層4cmはアスファルト。全体に10～20cmの石灰岩柱状コアが玉石状に混じる。玉石間は、砂質土で成る。N値は隣接層のため過大。	3/17 15.40	1.00	貫入不能		60 / 0								
2				粘土質砂礫	褐	中位		φ5～40mm石灰岩礫主体。上部の粘土は半固結状。下部は粘性が大。		2.15	3	3	4	10 / 30							
3	47.89	2.30	3.60	砂礫	淡黄灰	中位		φ2～30mm石灰岩礫主体。ほぼ均質である。		2.45											
4				砂礫	淡黄灰	中位		φ2～30mm石灰岩礫主体。ほぼ均質である。		3.15	5	7	5	17 / 30							
5				砂礫	淡黄灰	中位		φ2～30mm石灰岩礫主体。ほぼ均質である。		3.45											
6	45.69	2.20	5.80	粘土混じり砂	淡黄灰	緩い		φ2～40mm石灰岩礫主体。含水量が多く緩い。		4.15	7	4	4	15 / 30							
7	44.19	1.50	7.30	粘土混じり砂	淡黄灰	緩い		φ2～40mm石灰岩礫主体。含水量が多く緩い。		4.45											
8				粘土	茶褐	中位	軟らかい	全体に風化が進み粘土化している。全体に粘性が大。10m付近は含水量が少なく、ややかたい。11m付近は含水量がやや多く、軟弱である。12m付近以下は、砂分が混じり、一部で砂混じり粘土状である。		5.15	11	5	2	18 / 30							
9				粘土	茶褐	中位	軟らかい	全体に風化が進み粘土化している。全体に粘性が大。10m付近は含水量が少なく、ややかたい。11m付近は含水量がやや多く、軟弱である。12m付近以下は、砂分が混じり、一部で砂混じり粘土状である。		5.45											
10				粘土	茶褐	中位	軟らかい	全体に風化が進み粘土化している。全体に粘性が大。10m付近は含水量が少なく、ややかたい。11m付近は含水量がやや多く、軟弱である。12m付近以下は、砂分が混じり、一部で砂混じり粘土状である。		6.15	2	1	2	5 / 30							
11				粘土	茶褐	中位	軟らかい	全体に風化が進み粘土化している。全体に粘性が大。10m付近は含水量が少なく、ややかたい。11m付近は含水量がやや多く、軟弱である。12m付近以下は、砂分が混じり、一部で砂混じり粘土状である。		6.45											
12				粘土	茶褐	中位	軟らかい	全体に風化が進み粘土化している。全体に粘性が大。10m付近は含水量が少なく、ややかたい。11m付近は含水量がやや多く、軟弱である。12m付近以下は、砂分が混じり、一部で砂混じり粘土状である。		7.15	1	1	1	3 / 30							
13				粘土	茶褐	中位	軟らかい	全体に風化が進み粘土化している。全体に粘性が大。10m付近は含水量が少なく、ややかたい。11m付近は含水量がやや多く、軟弱である。12m付近以下は、砂分が混じり、一部で砂混じり粘土状である。		7.45											
14	37.79	6.40	13.70	砂礫	黄褐	密な		φ2～20mm石灰岩礫主体。礫間は粗砂。下部は、若干の粘性と水分を有する。		8.15	1	1	2	4 / 30							
15	36.29	1.50	15.20	砂礫	黄褐	密な		φ2～20mm石灰岩礫主体。礫間は粗砂。下部は、若干の粘性と水分を有する。		8.45											
16				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		9.15	1	1	1	3 / 30							
17				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		9.45											
18	33.49	2.80	18.00	緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		10.15	2	2	2	6 / 30							
19				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		10.45											
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		11.15	1	1	1	2 / 30							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		11.45											
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		12.15	1	2	2	5 / 30							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		12.45											
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		13.15	1	1	2	4 / 30							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		13.45											
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		14.15	5	17	11	33 / 30							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		14.45											
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		15.15	60 / 9			60 / 9							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		15.24				60 / 0							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		16.00	貫入不能			60 / 0							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		16.00	貫入不能			60 / 0							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		17.00	貫入不能			60 / 0							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		17.00	貫入不能			60 / 0							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		18.00	貫入不能			60 / 0							
				緑色岩	緑灰			基盤岩。堅固層。全体に亀裂が多く、短柱状コアが主体をなす。コアは5～15cm程度が主体で成る。亀裂集中部では、礫状を呈する。		18.00	貫入不能			60 / 0							

ボーリング柱状図

調査名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	大島郡知名町瀬利覚2362番地			北緯						
発注機関	知名町			調査期間	令和2年3月17日～2年3月19日		東経						
調査業者名	ユニオン技術株式会社 電話(099-268-0956)		主任技師	松山義高	現場代理人	末吉哲也	コ鑑定者	松山義高					
ボーリング責任者							胸元 滋						
孔口標高	50.95m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機	吉田鉄工製 YBM-05型	ハンマー	落下用具	半自動落下装置
総掘進長	23.00m	度						エンジン	ヤンマー製 NF90	ポンプ	吉田鉄工製 GP-3		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	採取方法	室内試験 (月日)	掘進				
										深 度 (m)	10cm ごと の 打撃 回数	0	10								20			
1				盛土	黄茶灰		緩い / 中位	φ2~50mm石灰岩礫主体の盛土。粘土分が混入する。締まり具合にバラツキがある。		1.15	1/30	1/30	1											
2									2.15	6	4	5	15/30	15										
3									3.15	1	1	5	7/30	7										
4									4.15	4	4	5	13/30	13										
5	45.95	5.00	5.00						5.15	1	1/22	2/32	2											
6				粘土混じり砂礫	黄茶灰		非常に緩い / 中位 / 緩い / 中位	全体にφ2~50mm石灰岩礫主体。粘土分混入量が変化しており、粘土質砂礫と粘土混じり砂礫が互層状をなす。N<10は粘土質部、N>10は粘土混じり部の傾向がある。全体に土質に大きな変化はみられない。部分的に15cm石灰岩柱状コアが残る。9.7~10.0m間と16.6~17.3m間で掘進用具が落下した。ごく軟弱部もしくは空洞と推察される。15mのN値は礫障害のため過大。17.5m付近は礫分が少ない。		5.47	4	5	6	15/30	15									
7													6.15	4	5	6	15/30	15						
8													6.45	7	5	3	15/30	15						
9													7.15	7	5	3	15/30	15						
10													7.45	1	2	6	9/30	9						
11													8.15	1	2	6	9/30	9						
12													8.45	5	2	1	8/30	8						
13													9.15	2	2	2	6/30	6						
14													10.15	3	4	2	9/30	9						
15													10.45	6	5	5	16/30	16						
16								11.15	2	2	5	9/30	9											
17								11.45	6	7	2	15/30	15											
18								12.15	2	2	5	9/30	9											
19								12.45	6	7	2	15/30	15											
20	31.55	14.40	19.40					13.15	21	39/9	60/19	95												
21				粘土混じり砂	淡緑灰		緩い / 中位	粗粒砂主体で、粘土分やφ2~15mm礫が混じる。全体に含水量がやや多い。		13.45	5	2	1	8/30	8									
22													14.15	1	3	4	8/30	8						
23				緑色岩	淡緑灰			基盤岩。硬い。堅固層。全体に亀裂が多い。5~15cm柱状コアと片状コアが混在する。		14.45	2	3	5	10/30	10									
24													14.75	2	3	5	10/30	10						
								15.15	4	5	7	16/30	16											
								15.34	2	2	2	6/30	6											
								16.15	3	4	5	12/30	12											
								16.45	2	2	2	6/30	6											
								17.45	3	4	5	12/30	12											
								17.75	3	4	5	12/30	12											
								18.15	真入不能			60/0												
								18.45	真入不能			60/0												
								19.15	真入不能			60/0												
								19.45	真入不能			60/0												
								20.15	真入不能			60/0												
								20.45	真入不能			60/0												
								21.15	真入不能			60/0												
								21.45	真入不能			60/0												
								22.00	真入不能			60/0												
								22.00	真入不能			60/0												
								23.00	真入不能			60/0												
								23.00	真入不能			60/0												

ボーリング柱状図

調査名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo _____

ボーリング名	No. 3		調査位置	大島郡知名町瀬利覚2362番地			北緯					
発注機関	知名町			調査期間	令和2年3月18日～2年3月21日			東経				
調査業者名	ユニオン技術株式会社 電話(099-268-0956)		主任技師	松山義高		現代場人	末吉哲也	コ鑑ア者	松山義高	ボーリング責任者	茂木 朗	
孔口標高	50.67m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 東 90° 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	吉田鉄工製 YBM-05型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	25.00m	度		向				エンジン	ヤンマー製 NF90	ポンプ	吉田鉄工製 GP-3	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 方法	室内試験 (月日)	掘進 月日	
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数 0 10 20 〃 〃 〃	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)							
1				石灰岩・礫	暗黄灰		非常に密な	石灰岩の弱風化部で、部分的に柱状コアが残る。上部から4.5m付近までは砂礫状を呈する部分が多い。3m付近は風化のため、礫分が少ない。	1.09 60/3			60/3	600							
2								風化部。石灰岩礫はやや脆い。	1.12 60/1			60/1	1800							
3				礫質砂	淡黄灰		緩い		2.00 60/1			60/1								
4				粘土質砂礫	黄褐		非常に緩い	φ2~20mm礫主体。含水量が多い。粘性は大。	2.01 3.15 19 14 17 50/30			50/30	50							
5				砂礫	淡黄灰		密な	φ5~30mm礫主体。若干の粘土分が混じる。	3.45 4.15 30 24 6/2 60/22			82								
6	44.27	6.40	6.40						4.37 5.00 貫入不能			60/0								
7									6.07 6.10 60/3 60/3			600								
8	42.87	1.40	7.80						7.15 3 3 2 8/30			8								
9									7.45 8.15 1/45 1/45			1								
10	41.87	1.00	8.80						8.60 9.15 23 7 5 35/30			35								
11									9.45 10.15 2 1 1 4/30			4								
12									10.45 11.15 2 2 2 6/30			6								
13									11.45 12.15 1/18 1/15 2/33			2								
14									12.48 13.15 5 2 1 8/30			8								
15									13.45 14.15 10 6 2 18/30			18								
16									14.45 15.15 1 20 39 60/8 28			64								
17									15.43 16.15 4 5 11 20/30			20								
18									16.45 17.15 2 3 3 8/30			8								
19									17.45 18.15 4 3 5 12/30			12								
20									18.45 19.15 7 5 1 13/30			13								
21									19.45 20.15 1/14 2 3 6/34			5								
22									20.49 21.15 3 2 2 7/30			7								
23	27.67	13.20	23.00						21.45 22.15 2/8 1/30 3/28			2								
24									22.53 23.00 貫入不能			60/0								
25	25.67	2.00	25.00						24.00 24.00 貫入不能			60/0								
									25.00 25.00 貫入不能			60/0								

ボーリング柱状図

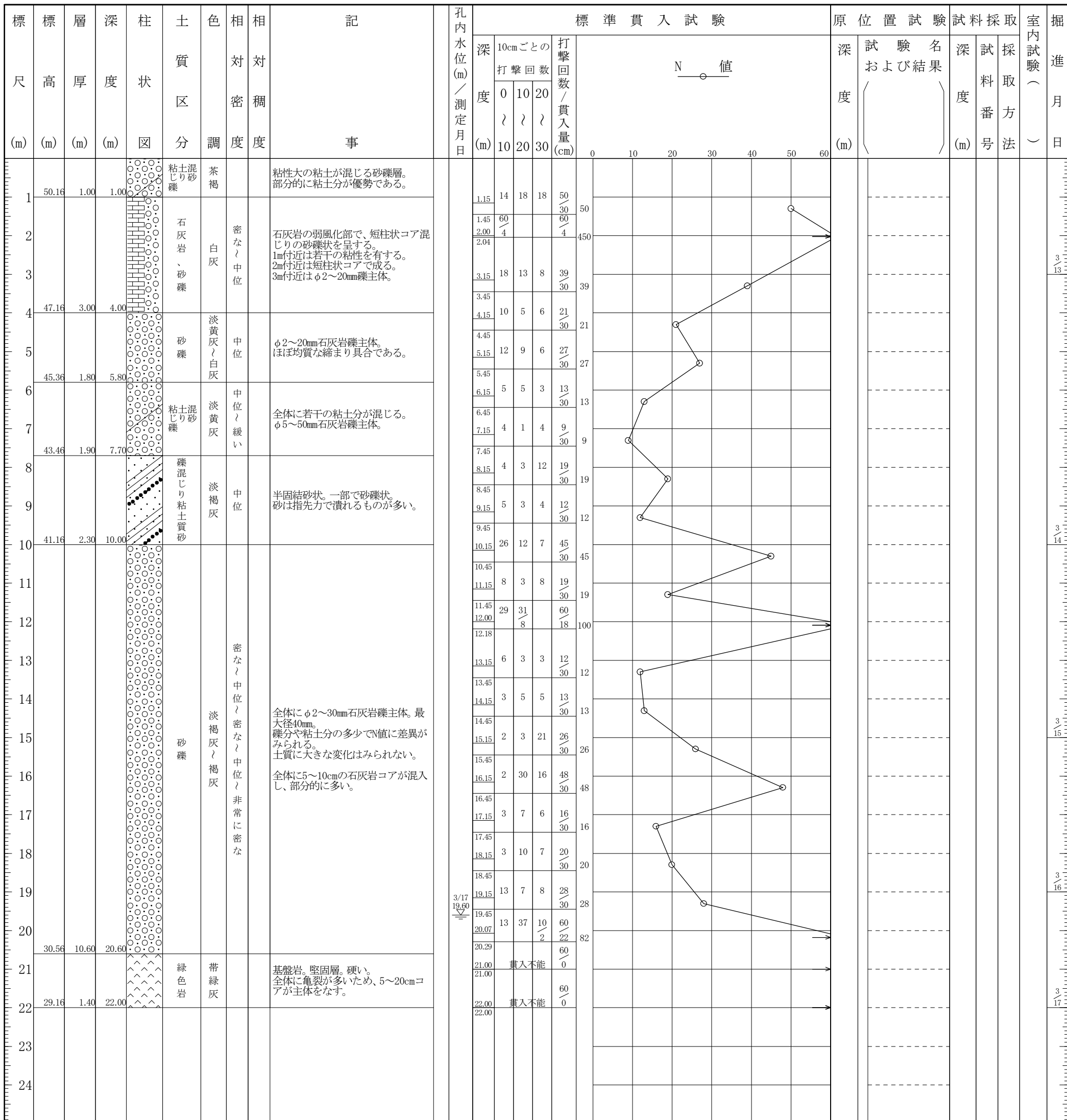
調査名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 4		調査位置	大島郡知名町瀬利覚2362番地			北緯					
発注機関	知名町			調査期間	令和2年3月12日～2年3月17日			東経				
調査業者名	ユニオン技術株式会社 電話(099-268-0956)		主任技師	松山義高		現代場人	末吉哲也	コ鑑定者	松山義高	ボーリング責任者	茂木朗	
孔口標高	51.16m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	吉田鉄工製 YBM-05型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	22.00m	度		向				エンジン	ヤンマー製 NF90	ポンプ	吉田鉄工製 GP-3	



ボーリング柱状図

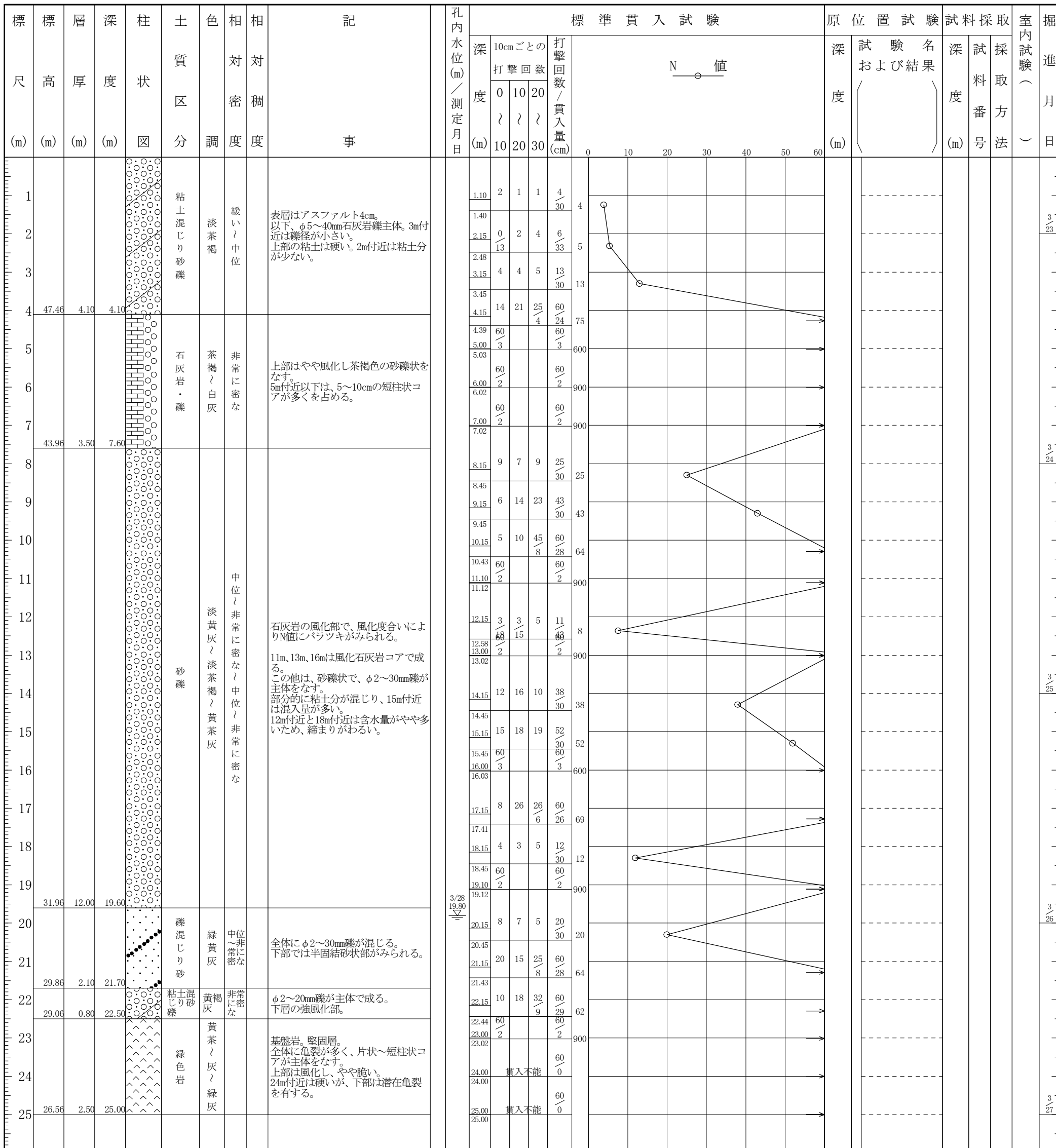
調査名 令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務

ボーリングNo

事業・工事名

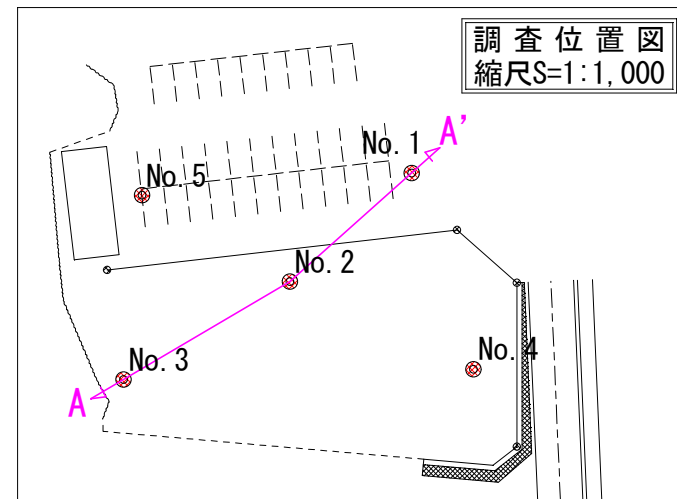
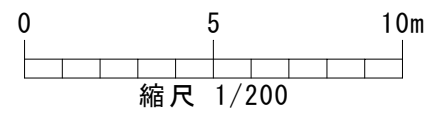
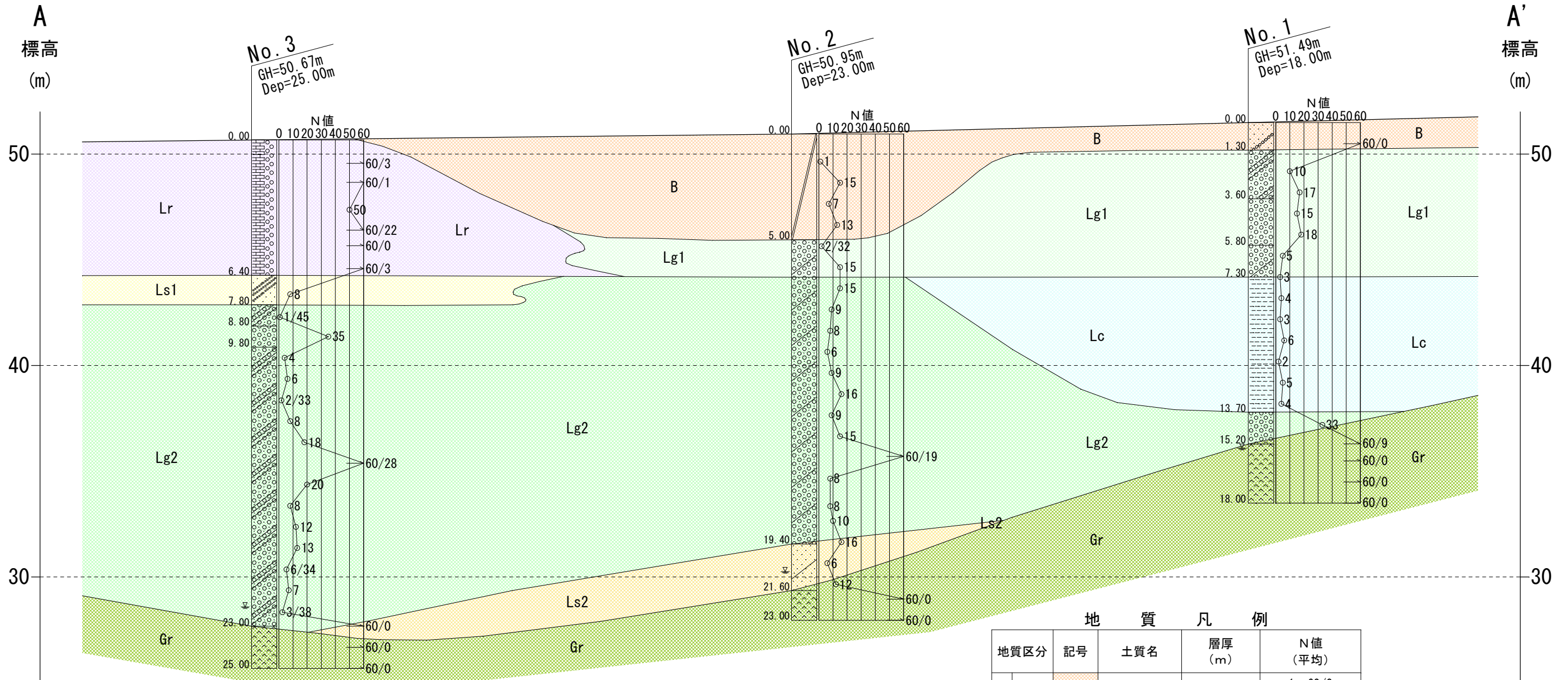
シートNo

ボーリング名	No. 5	調査位置	大島郡知名町瀬利覚2362番地			北緯									
発注機関	知名町		調査期間	令和2年3月23日～2年3月27日		東経									
調査業者名	ユニオン技術株式会社 電話(099-268-0956)		主任技師	松山義高	現代場人	末吉哲也	コーア鑑定者	松山義高	ボーリング責任者	茂木朗					
孔口標高	51.56m	角	180°上 90° 0°下		方	北 0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	吉田鉄工製 YBM-05型	ハンマー	落下用具	半自動落下装置
総掘進長	25.00m	度								エンジン	ヤンマー製 NF90		ポンプ	吉田鉄工製 GP-3	



令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務
地質断面図-1 (A-A'断面) 縮尺 S=1:200

地質断面図-1
A-A'



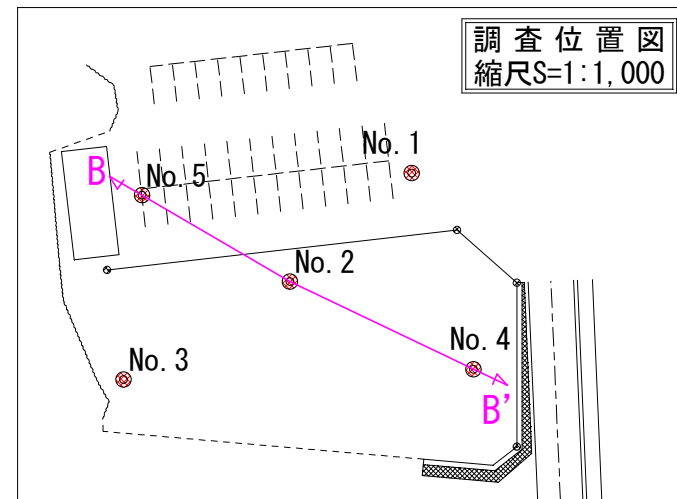
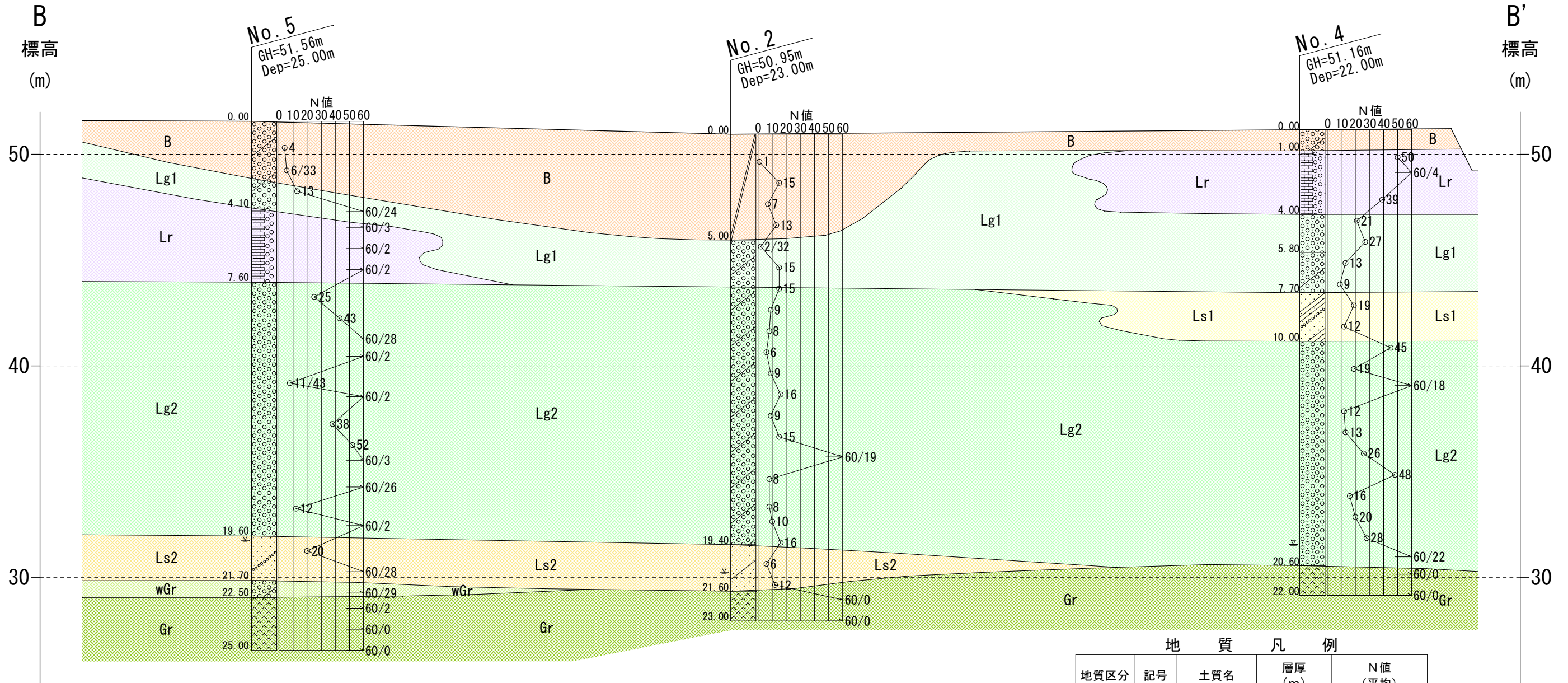
地質凡例

地質区分	記号	土質名	層厚 (m)	N値 (平均)
新 生 代 第四 紀 琉 球 層 群	現世	B	盛土	1.0~5.0 1~60/0 (7.5)
	第四 紀 琉 球 層 群	Lr	石灰岩	3.0~6.4 39~60/0 (199.7)
		Lg1	第1礫質土	1.3~6.0 2~27 (13.8)
		Ls1	第1砂質土	1.4~2.3 8~19 (13.0)
		Lc	粘土	6.4 2~6 (3.9)
		Lg2	第2礫質土	1.5~15.2 1~60/2 (45.1)
		Ls2	第2砂質土	2.1~2.2 6~60/28 (25.5)
中 生 代 根 折 層	wGr	風化緑色岩	0.8 60/29 (62.0)	
	Gr	緑色岩	1.4~2.8 (確認厚) 60/2~60/0 (300.0)	

・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。

令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務
地質断面図-2 (B-B'断面) 縮尺 S=1:200

地質断面図-2
B-B'



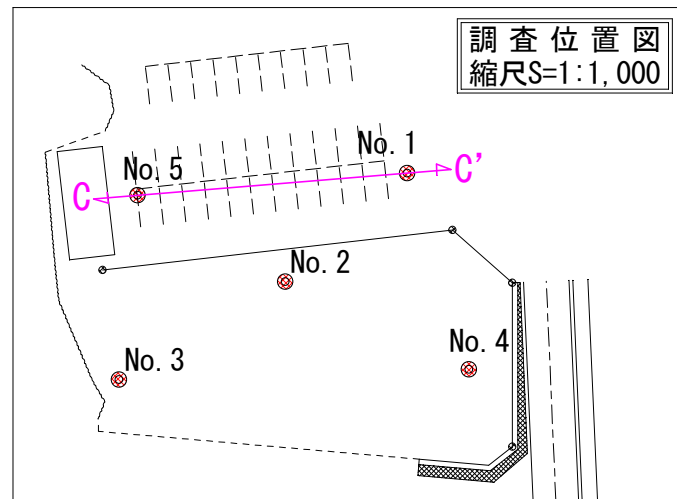
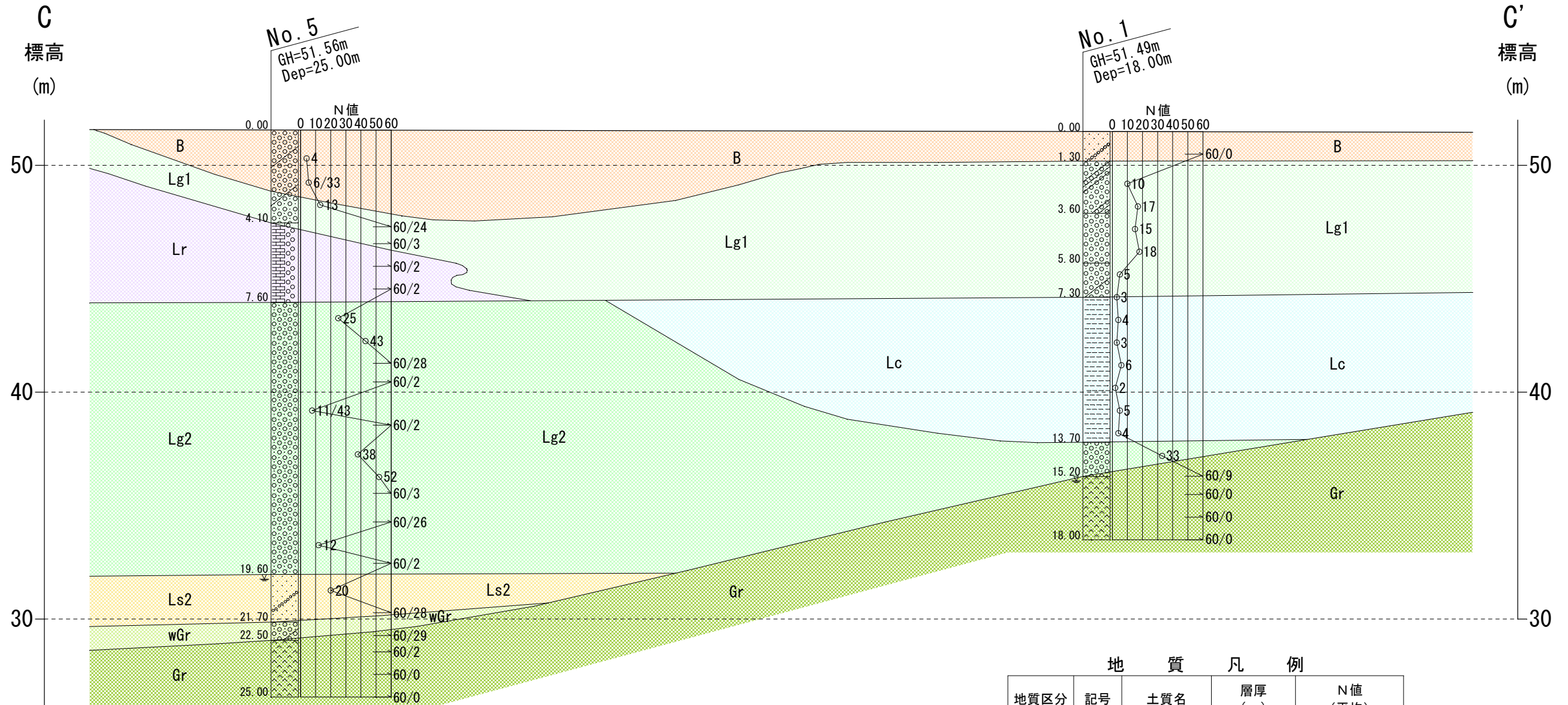
地質凡例

地質区分	記号	土質名	層厚 (m)	N値 (平均)	
新 第四紀・更新群	現世	B	1.0~5.0	1~60/0 (7.5)	
	琉球層	Lr	石灰岩	3.0~6.4	39~60/0 (199.7)
		Lg1	第1礫質土	1.3~6.0	2~27 (13.8)
		Ls1	第1砂質土	1.4~2.3	8~19 (13.0)
		Lc	粘土	6.4	2~6 (3.9)
		Lg2	第2礫質土	1.5~15.2	1~60/2 (45.1)
中生代	Ls2	第2砂質土	2.1~2.2	6~60/28 (25.5)	
	wGr	風化緑色岩	0.8	60/29 (62.0)	
	Gr	緑色岩	1.4~2.8 (確認厚)	60/2~60/0 (300.0)	

・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。

令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務
地質断面図-3 (C-C'断面) 縮尺 S=1:200

地質断面図-3
C-C'



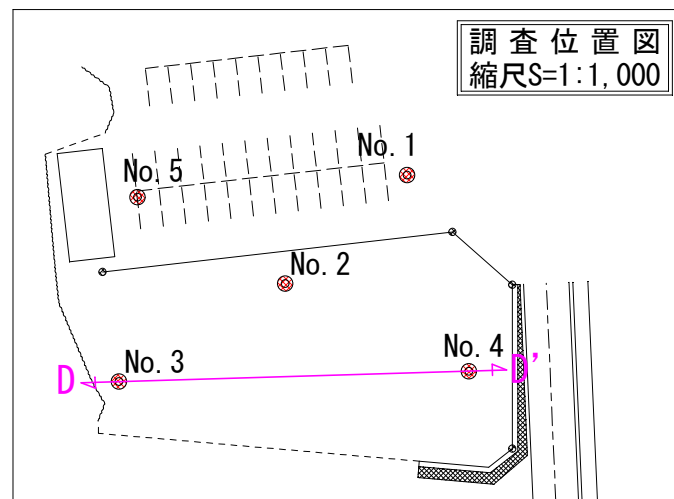
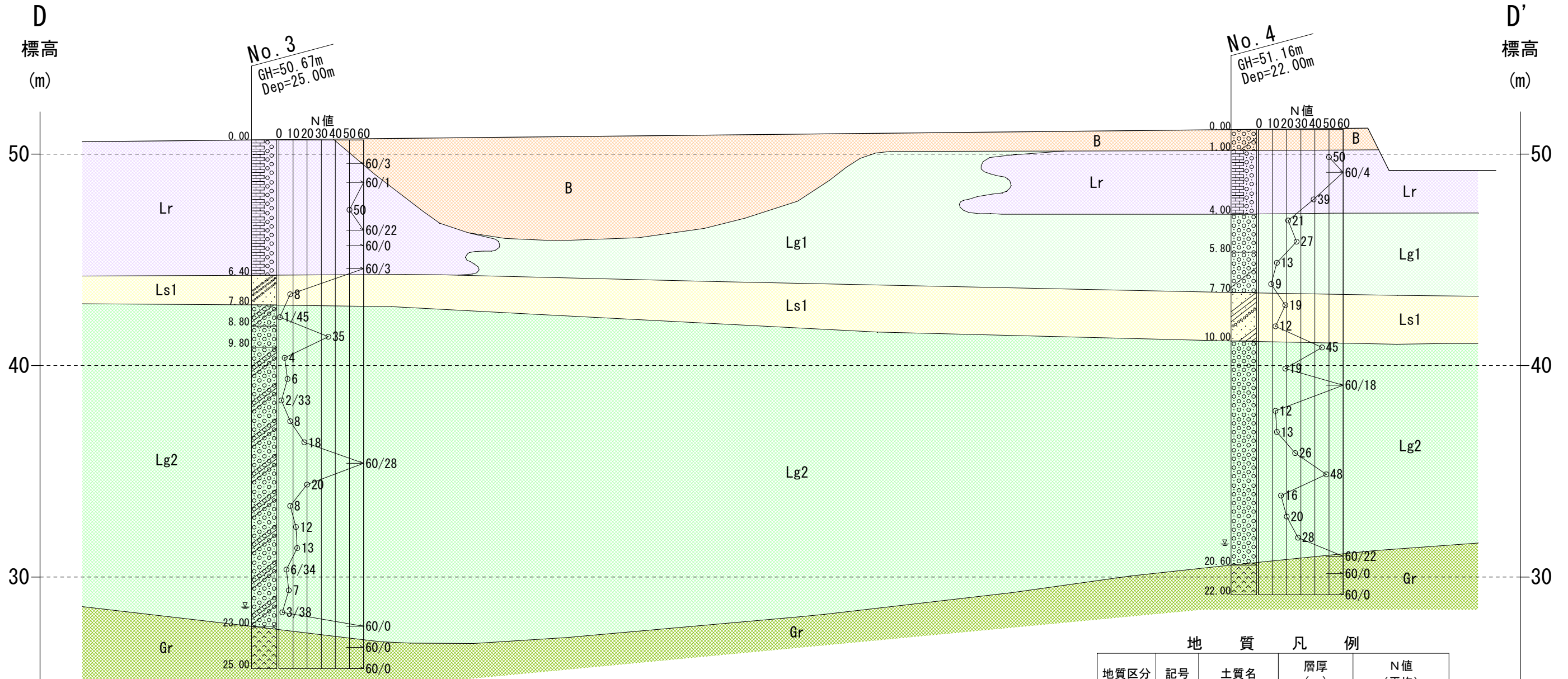
地質凡例

地質区分	記号	土質名	層厚 (m)	N値 (平均)
新 生 代 ・ 更 新 層	現世	B	盛土	1.0~5.0 1~60/0 (7.5)
	琉 球 層 群	Lr	石灰岩	3.0~6.4 39~60/0 (199.7)
		Lg1	第1礫質土	1.3~6.0 2~27 (13.8)
		Ls1	第1砂質土	1.4~2.3 8~19 (13.0)
		Lc	粘土	6.4 2~6 (3.9)
		Lg2	第2礫質土	1.5~15.2 1~60/2 (45.1)
		Ls2	第2砂質土	2.1~2.2 6~60/28 (25.5)
中 生 代	根折層	wGr	風化緑色岩	0.8 60/29 (62.0)
		Gr	緑色岩	1.4~2.8 (確認厚) 60/2~60/0 (300.0)

・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。

令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務
 地質断面図-4 (D-D' 断面) 縮尺 S=1:200

地質断面図-4
 D-D'

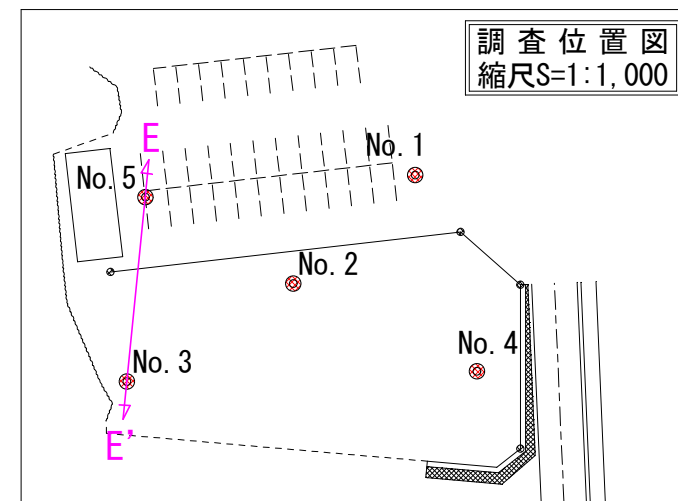
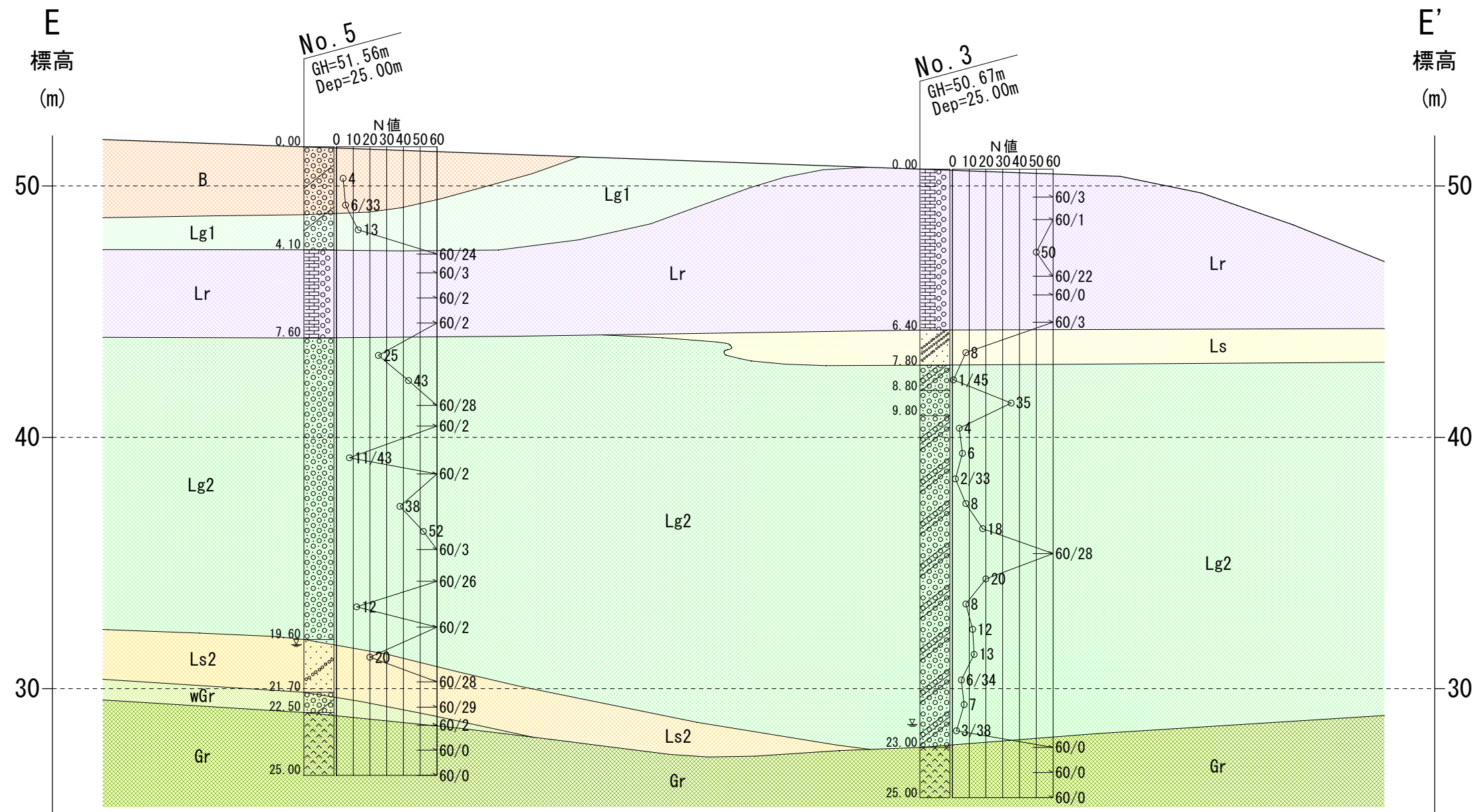


地質凡例				
地質区分	記号	土質名	層厚 (m)	N値 (平均)
新 生 代	現世 琉 球 層 群	B	盛土	1.0~5.0 1~60/0 (7.5)
		Lr	石灰岩	3.0~6.4 39~60/0 (199.7)
		Lg1	第1礫質土	1.3~6.0 2~27 (13.8)
		Ls1	第1砂質土	1.4~2.3 8~19 (13.0)
		Lc	粘土	6.4 2~6 (3.9)
		Lg2	第2礫質土	1.5~15.2 1~60/2 (45.1)
中 生 代	根 折 層	Ls2	第2砂質土	2.1~2.2 6~60/28 (25.5)
		wGr	風化緑色岩	0.8 60/29 (62.0)
		Gr	緑色岩	1.4~2.8 (確認厚) 60/2~60/0 (300.0)

・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。

令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務
地質断面図-5 (E-E' 断面) 縮尺 S=1:200

地質断面図-5
E-E'



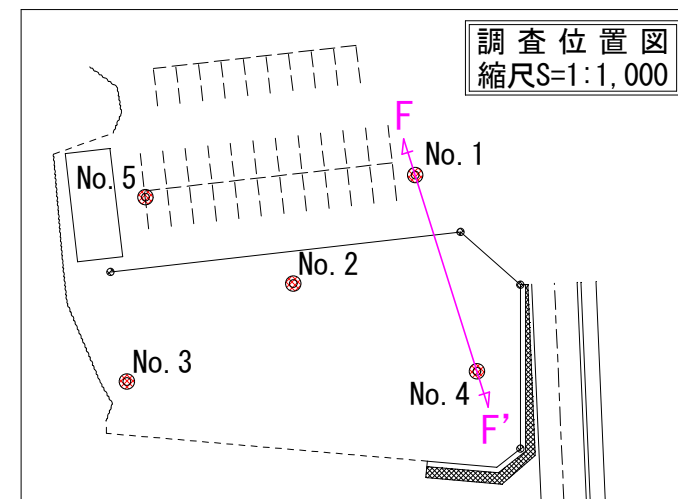
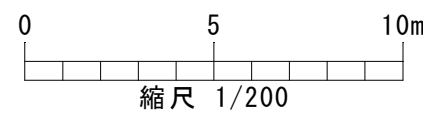
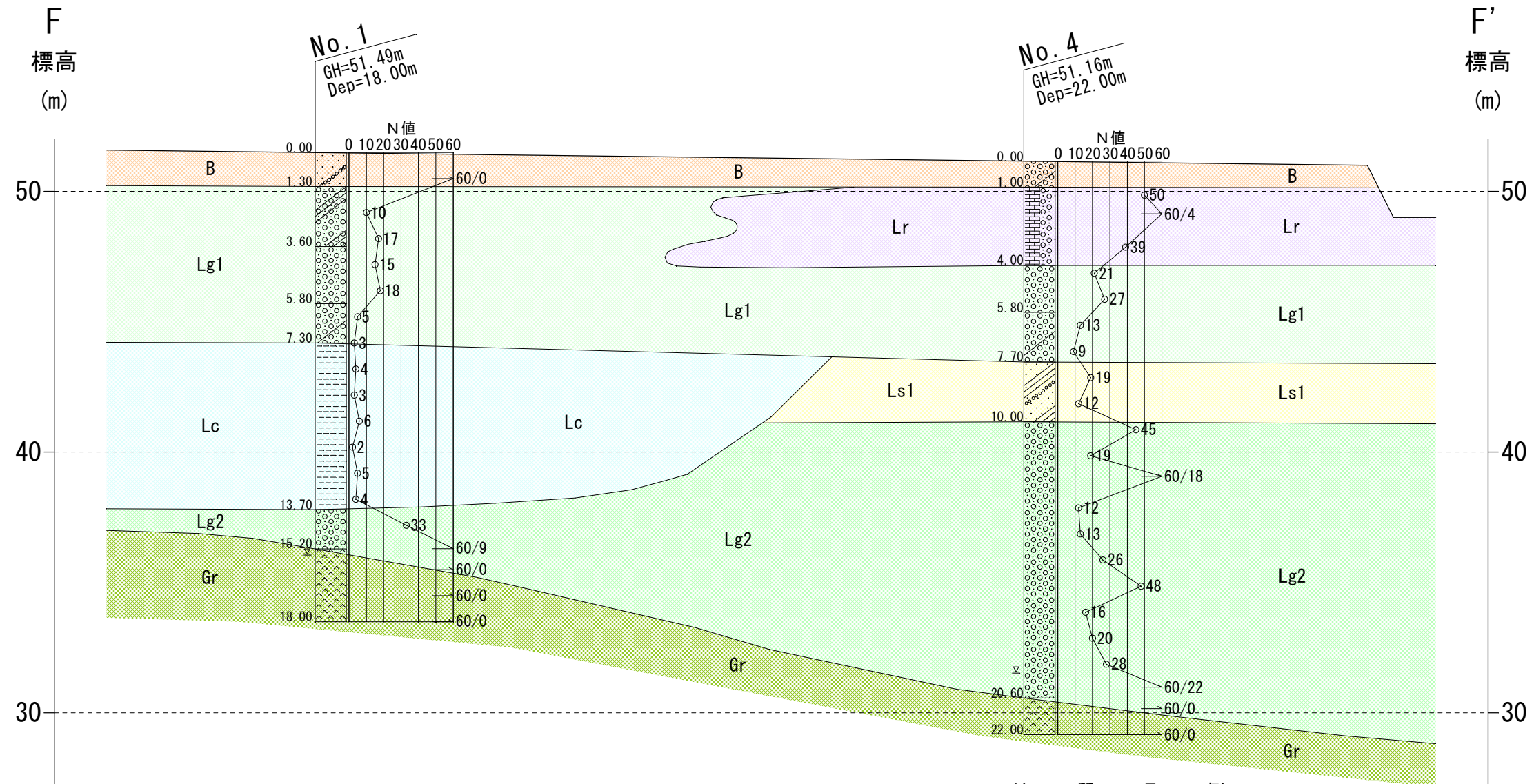
地質凡例

地質区分	記号	土質名	層厚 (m)	N値 (平均)
新 第四紀・更新群 代	現世	B	盛土	1.0~5.0 1~60/0 (7.5)
	琉球層	Lr	石灰岩	3.0~6.4 39~60/0 (199.7)
		Lg1	第1礫質土	1.3~6.0 2~27 (13.8)
		Ls1	第1砂質土	1.4~2.3 8~19 (13.0)
		Lc	粘土	6.4 2~6 (3.9)
		Lg2	第2礫質土	1.5~15.2 1~60/2 (45.1)
		Ls2	第2砂質土	2.1~2.2 6~60/28 (25.5)
中生代	根折層	wGr	風化緑色岩	0.8 60/29 (62.0)
	層	Gr	緑色岩	1.4~2.8 60/2~60/0 (300.0)

・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。

令和元年度知名町役場新庁舎地質調査委託業務
地質断面図-6 (F-F' 断面) 縮尺 S=1:200

地質断面図-6
F-F'



地質凡例

地質区分	記号	土質名	層厚 (m)	N値 (平均)	
新 第四 紀・ 更新 世	現世	B	1.0~5.0	1~60/0 (7.5)	
	琉 球 層 群	Lr	石灰岩	3.0~6.4	39~60/0 (199.7)
		Lg1	第1礫質土	1.3~6.0	2~27 (13.8)
		Ls1	第1砂質土	1.4~2.3	8~19 (13.0)
		Lc	粘土	6.4	2~6 (3.9)
		Lg2	第2礫質土	1.5~15.2	1~60/2 (45.1)
		Ls2	第2砂質土	2.1~2.2	6~60/28 (25.5)
中 生 代	根 折 層	wGr	風化緑色岩	0.8	
	Gr	緑色岩	1.4~2.8 (確認厚)	60/2~60/0 (300.0)	

・平均N値は、換算N値=300を上限として算出した。なお、60/0は除外した。